

# 草笛山荘

Kusabue Sansou  
(長野県上田市)



久しぶりに菅平高原へスキーをしにやってきた。場所はアルペンスキーのメッカであるパインピークスキー場。そこら中にポールが張られ、ワンピースを着たレーサー達がうじゃうじゃいるゲレンデである。しかも、修学旅行生の初心者もうじゃうじゃいる。衝突事故が起こらないか心配しながら滑る。

今回紹介するのは、パインピークの麓にある草笛山荘という宿の風呂である。草笛山荘はゲレンデから歩いて約5分という至近距離だ。しかも、この至近距離を宿の主人（イケメン！）がバスで送迎してくれるからありがたい。ゲレンデから宿に戻るときは、裏道を通して宿のすぐ近くまで滑走することもできる。歩く距離が最小化され、申し分がない。但し、この裏道、ゲレンデからの入口の位置は少々わかりにくい。

草笛山荘の玄関は2階になっており、大きな広間があり、大きなテレビがある。ここでスキーヤー達がビデオミーティングをできるようになっている。取材中は筑波大学と東洋大学の学生が草笛山荘に合宿をしていた。外にはチューンアップルームが2棟もあり、板のホットワクシングをすることができる。さすがにパインピークにある宿だ。

草笛山荘の風呂は1階にある。脱衣室には脱いだものを籠に入れる。貴重品は客室に置いてきた方が無難だ。浴室の洗い場は4か所。ボディソープとシャンプーは完備している。浴槽は6人くらいは入れる大きなもので、適温であった。取材班の他のメンバーに聞くと、熱い時間帯、ぬるい時間帯があったようだが、宿のスタッフが現在の湯加減を教えてくれるため、参考になったという。

入浴中、居候だという大阪の大学生に会った。さすがに居候だけあって、スキーの腕前はかなりのも

のようであった。大阪から一人でやってきて、仕事をしながら、スキーの練習をする。ここにはその環境が整っている。しかもお金をかけずに。このような居候のシステムがあるからこそ、今の日本のスキーシーンが成立しているのかもしれない。尚、この居候は、かなりの長風呂好きのようであった。私が浴室に入った時は既に浴槽の横で体を冷やしており、私が浴室から出る時もまだその場所にいた。

幸いにして、取材中の2日間は、天候が素晴らしく良かった。菅平特有の締まった雪で、スピードを出しての滑走が可能となった。素晴らしい練習環境と快適な宿の風呂。スキーには必須である。

### DATA

名称	草笛山荘
所在地	長野県上田市菅平高原 1223-4905
電話	0268-74-2683
営業時間	要確認
定休日	要確認
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2019年2月2日~3日
取材	銭湯愛好会東京支部